



12月は 地球温暖化防止月間



2050年には 魚より海洋プラスチックごみの量が多くなる？

海に浮かんでいるごみは、ポイ捨てや放置されたプラスチックごみが全体の7～8割だと言われています。1950年以降に生産されたプラスチック類は83億t超のうち63億tがごみとして廃棄されたとの報告もあります。毎年約800万tのプラスチックごみが海に流出しているという試算や、2050年には海中のプラスチックごみの重量が魚の重量を超えるという試算もあります。

その中でも、波や紫外線などで5mm以下に小さくなった「マイクロプラスチック」には有害物質を吸着する性質があり、魚介類を食べることで人体にも取り込まれている恐れがあります。そのため、海に面していない福生市でも無関係とは言えません。

こうした現状で、地球温暖化防止月間である12月をきっかけに環境について少しでも興味をもっていただければ、自然と環境にやさしい行動につながるかもしれません。ごみの分別を適切に行う、講座に参加して市内で環境に関する活動をしている方のお話を聞く、これらも大切な環境配慮行動です。

ぜひ、かんきょう通信を読んで今日からできる環境にやさしい行動を実践しましょう！

私たちにできる環境にやさしい行動ってなんだろう？

食品ロス対策

食品ロスとはまだ食べられるのに廃棄される食品のことです。日本の食品ロス量は、年間 472 万 t、毎日、国民一人当たり約 103 g、おにぎり 1 個分のご飯を捨てていることになります。（令和 4 年度 農林水産省推計値）

食材を余すことなく調理しよう

ブロッコリーの茎やにんじんの皮など野菜の可食部を残さず食べよう！不揃い野菜でお得にお買い物ができることも♪



「てまえどり」

買って早めに食べるときは、商品棚の手前にある商品や、賞味期限や消費期限の迫った商品を積極的に選ぼう！

賞味期限と消費期限の違いを知ろう

賞味期限 おいしさなどの品質が保たれる期限

消費期限 安全に食べられる期限

買い物をした時や家の冷蔵庫の中にある食品の表示をよく見て、いつまで食べられるか確かめるようにすれば、食べ物を無駄にすることもあります。

カーボンニュートラルに向けて

カーボンニュートラルとは、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることです。一般電球に比べ、消費電力が低い電球形 LED ランプに変えたり、太陽光発電を活用したりすることで、住まいから温室効果ガスを削減することができます。また、廃棄する食品を減らすことや地産地消を行い環境負荷を抑えることで食品ロス対策だけでなくカーボンニュートラルにもつながります。



日頃の行動を見直してみました

果たして、自分自身は環境に配慮した行動をとっているのか考えてみました。移動するときは車を控えて自転車や福祉バスを利用しています。食に関しては、買い過ぎ、作り過ぎに配慮しています。この頃スーパーでは小分け販売が進んでいるようで 2 人家族としてはありがたいことです。（市民編集員 K.M）

地球温暖化防止月間に関するお知らせ

福生まちなか温み処

節電のため、市内公共施設等 11 か所で市民の皆さんが温まることができるスペースを開放しています。詳しくは HP をご覧ください。

12/1（日）～ 3/31（月）



HPはこちら



市役所 1 階ロビーにて 展示を行っています

冬の節電・省エネ対応をテーマに展示しています。賢い省エネ・節電や生活スタイルについても見直し、行動しましょう！

12/9（月）～ 12/20（金）

市役所開庁時間

（最終日は 15:00 まで）

ふっさライトダウン キャンペーン 2024 冬

家庭や事業所の照明を消灯することで省エネを行い、環境にやさしい夜にしましょう。

12/21（土） 18:00～20:00

※安全面、防犯面等で支障のない範囲での消灯にご協力ください。



第22回 ふっさ環境フェスティバルを激写

ふっさ環境フェスティバルとは、環境月間である6月を開催期間として、環境にやさしいライフスタイル、自然環境、企業や市民団体のエコな取組について学び、体験できるイベントです。

5年ぶり！多摩川中央公園での開催

40団体によるブース出展の他、ステージイベントでは、お笑いコンビ「ゆとりズ」によるSDGs お笑いトークショーや草笛演奏など、様々な演目が披露されました。



マスのつかみどり

お店を巡って素敵な景品をゲット！

6月中に、市内の参加店舗にある二次元コードからデジタルスタンプを集めると、素敵な景品に応募できるスタンプラリーを実施しました。

お店を利用して

ECO FRIENDLY 認証団体を応援♪



ふっさ環境フェスティバル実行委員会が「環境にやさしい事業者・団体」として認証している証がこのステッカーです。



参加団体「ふっさ草笛サークル」の声を聞いてみました

ブースには多くの方が立ち寄ってくれて、バラン（お弁当に入っている緑のアレ）で作った草笛の音の出し方、メロディーの付け方を伝えました。また、私たちはステージイベントにも出演し、日頃の練習成果を聞いてもらいました。草花丘陵から奥に続く奥多摩の山々に向かっての演奏は気持ちよかったです♪そして、このステージで一番輝いていたのは4歳の直君！草笛は練習中ですが、他の楽器を弾くと、観客の皆さんは大盛り上がりでした！直君は他のイベントでも演奏してくれて将来が楽しみです。



4歳の子がデビューしました！

「第2次福生市環境基本計画」策定

20年ぶりの計画改定に向けて、公募市民等10名により「福生市環境基本計画市民会議」を令和4年度に立ち上げました。専門家からの情報提供や先進事例の視察、市の関係部署との意見交換会等を通じて、望むべき福生市における環境の将来像について検討を行い、「第2次福生市環境基本計画へ向けた市民提言」を令和5年7月に作成しました。市民提言をもとに、関係各課との協議、福生市環境事業推進会議での議論や福生市環境審議会での審議、パブリックコメントを経て、令和6年3月に「第2次福生市環境基本計画」を策定しました。本計画は令和6年度から10年後の令和15年度を目標年度とし、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）、地域気候変動適応計画、生物多様性地域戦略を包含しました。令和10年をめどに中間評価を実施し、国内外の情勢変化や市民意識の変化などを踏まえて、必要に応じて見直しを行います。

計画の内容はHPで見られるよ。
市民・市民団体アクションリストを見て
自分にできる行動を考えてみよう。

HPはこちら



アライグマ・ハクビシンにご用心



～アライグマ・ハクビシンを防除する理由～

家屋等への侵入による破損被害、糞尿による汚損や感染症など人への健康被害、日本の在来生物を食い荒らされることによる生態系被害といった様々な問題が引き起こされているためです。

◆えさになるものを置かない

畑や庭の野菜や果樹は収穫時期が来たら早めに収穫し、熟れて落ちた実も回収しましょう。

◆ねぐらをつくらせない

軒下、通気口、増築部分のつなぎ目など、侵入口になるところは塞ぎ、屋根にかかる樹木はこまめに切りましょう。

建物内部の対策や、被害があった場合の清掃・消毒、その他動物や虫の駆除などについて業者に依頼する場合は、下記にご相談ください。

公益社団法人東京都ペストコントロール協会
☎ 03-3254-0014

「ナガミヒナゲシ」に注意！



特徴

- ・4月～6月頃に花を咲かす
- ・オレンジ色の花
- ・ヨーロッパ地中海沿岸に分布するケシ科の植物



ナガミヒナゲシは、一個体で約15万粒もの種子をつけ、根からは他の植物の成長を阻害する物質を出すことから強い繁殖力があります。また、茎から出る黄色い汁には毒があり、肌に触れるとかぶれる恐れがあります。

自宅や自己所有の敷地等にナガミヒナゲシが生育している場合は

- ①軍手やゴム手袋を着用し
- ②可能な限り根っこから引き抜き
- ③種をまき散らさないように速やかに透明・半透明の袋に入れて燃やせるごみの日に出しましょう。



花が咲く前の駆除が効果的だよ！

イノシシを見かけたら

かに坂公園や柳山公園、多摩川中央公園、多摩川河川敷にて、イノシシが目撃されています。

イノシシを見かけた場合は



近寄らず、静かにその場を離れましょう。

えさを与えたり、食べ物を見せたりしないようにしてください。

カワラノギク保全プロジェクトをPRする看板が完成しました

プロジェクトについて



カワラノギクは、石がごろごろした河原で育つキクの仲間で、かつては多摩川の河原に群生していました。現在では全国でも一部の地域にだけ生育する絶滅危惧Ⅱ類とされています。多摩川では河川環境の変化などにより急減し、令和元年10月の洪水で野生絶滅となりました。福生市では、カワラノギク保全プロジェクトとして、市民、研究者、行政が協働で保全・復元活動に取り組んでいます。カワラノギクや保全活動について知っていただくため、柳山公園近くの多摩川沿いの歩道に看板を設置しました。是非、ご覧ください(^)



かんきょう通信 市民編集員大募集！

応募資格

- ・市内在住・在勤・在学の方
- ・掲載内容を考える編集会議（年3回程度）に参加いただけるまたはメールなどでやり取りできる方

応募方法

環境政策課までご連絡ください。

☎ 042-551-1718

かんきょう まめ ちしき クイズ 環境豆知識Q



した ぶんしょう まちが
下の文章で間違っているところはどこかな？
れいわ ねんど にほん しよくひん りょう ごくみんひとり あ
令和4年度の日本の食品ロス量は、国民一人当たりが毎週おにぎり1個分のご飯を捨てているのと同じくらいの量です。

日毎 ← 駄目 毎日
毎日 毎日 毎日

編集後記

今年は地球温暖化が原因と思われる高温や水害などの異常気象が多く発生しました。もう地球全体が悲鳴をあげています。他人事ではなく、一人一人がもっと環境にやさしい行動を真剣に考えていかなければならない時期に来ています。かんきょう通信をきっかけに、個々でできることを行動に移して欲しいと願っています。(A. W)

2024年12月発行 第53号

発行：かんきょう通信 市民編集部

事務局：福生市役所

生活環境部環境政策課

☎ 042-551-1718

資源有効利用のため
本紙は再生紙を使用
しています



この印刷物は環境にやさしい
「植物油インク」を使用しています。



「福生市は、環境保全に関する普及啓発のシンボルマークとして、かんきょう通信にエコマークを使用しています」

市民
編集員

エボエリコ（環ちゃんイラスト）・小野 豊・
正木直美・峯嶋 潔・義達早絵・渡部綾子